

救急医療体制について

救急医療体制の強化に向けた検討状況

県における検討体制（詳細は別添のとおり）

◎高知県救急医療協議会

- ・救急医療体制検討専門委員会
- ・メディカルコントロール専門委員会

◎二次救急医療機関及び三次救急医療機関意見交換会

次期医療計画の策定に向けた検討課題

◎救急医療連携体制の強化

- 三次救急から二次救急への患者受け入れ体制構築

◎救急搬送体制の充実・救急医療情報提供の充実

- 救急隊の医療ネット（搬送実績モニター）活用による患者搬送病院の分散

高知県の救急医療体制構築のための協議会等

| 名称 | 目的等 | 開催日等 | 議題等 | 意見等 |
|-------------------------|--|-------------------------|---|--|
| 高知県救急医療協議会 | 救急医療に関する諸問題の研究協議、調整及び審議を行い、救急医療の円滑な推進を図ることを目的として、救急医療体制の整備及び病院前救護体制の構築の研究協議及び救急医療体制の円滑な推進のための施策を協議する。 | 平成27年10月8日(木) 出席者は別添 | (1)第6期高知県保健医療計画の評価について (2)救急病院の新規認定について (3)「高知県傷病者の搬送及び受入の実施に関する基準」の医療機関リストの改正について (4)クレジット制による再教育実施要領の改正について (5)救急医療連携体制の強化について (6)こうち医療ネットの活用状況について (7)救命救急センター運営状況について | ・救急救命士の確保(採用・再教育)について ・救急告示病院の認定の承認 ・救急科専門医の育成について ・救急車の有料化について |
| 救急医療体制検討専門委員会 | 高知県保健医療計画の救急医療に関する評価及び高知県救急医療協議会への提案等について協議する。 | 平成27年8月20日(水) 出席者は別添 | (1)第6期保健医療計画の評価について (2)救急医療体制の強化について ・診療科別の病院群輪番体制について ・読影支援について ・一般向け救急電話相談事業について ・平成27年度事業について (3)ICTの活用状況について (4)平成27年度事業について | ・高齢者施設等との入所者の心肺停止時の取り決めの必要性について (高齢者施設等から、医療処置ができない看取りの高齢者を救急搬送してくる。) ・切断指の再接着等、高知県でできない医療を確認・周知し、県外のできる病院と協定等を結ぶことを提案 |
| メディカルコントロール専門委員会 | 救急業務の高度化が図られるよう、救急救命士に対する指示体制や救急隊員に対する指導・助言体制の調整、救急活動の事後検証に必要な措置に関する調整、研修等に関する調整等いわゆるメディカルコントロール体制の構築に係る実質的な調整を行う。 | 平成27年3月10日(火) | (1)「高知県傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」の医療機関リストの改正について (2)検証体制の見直しについて (3)二次検証に係る対象症例の見直しについて (4)検証医の選任について (5)症例検討について (6)ビデオ硬性喉頭鏡について (7)救急救命士の処置拡大に係る実施状況について | |
| 二次救急医療機関及び三次救急医療機関意見交換会 | 二次救急医療機関及び三次救急医療機関が情報交換を行い高知県の救急医療体制の課題について協議する。 | 平成28年2月23日(火) 出席者は別添 | (1)前回の意見交換会での意見について(報告) (2)こうち医療ネットの活用状況等について (3)二次救急医療機関及び三次救急医療機関の連携について (4)その他 | ・合併症がある患者は、二次病院と三次病院の連携が必要 ・救急隊との連携強化(医療ネットの搬送実績モニターを活用して、特定の病院に集中しないように) ・休日、夜間等は三次救急で対応しても、その後の昼間に二次病院に転院する連携システム等の構築が必要 |

高知県救急医療協議会 出席者名簿

| 氏名 | 役職名 |
|--------------------|-------------------------|
| 白井 隆口 | 田野病院院長(高知県医師会理事) |
| 岡林 弘毅 | 高知県医師会会長 |
| 蒲原 利明 | 高知県消防長会会長(高知市消防局長) |
| 西岡 豊 (吉川委員代理) | 高知医療センター副院長(兼)地域医療センター長 |
| 喜多村 泰輔 | 高知医療センター救命救急センター長 |
| 小松 和英 | 南国市消防本部消防長 |
| 仙頭 義文 | 安芸市消防本部消防長 |
| 竹内 正志 | 高幡消防組合消防本部消防長 |
| 松本 二 (武田委員代理) | 幡多中央消防組合消防本部消防次長 |
| 欠席 武市 隆志 | 高知県救急医療情報センター理事長 |
| 竹村 晴光 | 高知県医師会副会長 |
| 橘 壽人 | 幡多けんみん病院院長 |
| 田村 精平 | 須崎くろしお病院院長(高知県医師会理事) |
| 近森 正幸 | 近森病院院長 |
| 長野 修 | 高知大学医学部災害・救急医療学講座特任教授 |
| 西山 謹吾 | 高知赤十字病院救命救急センター長兼救急部長 |
| 土居 秀臣 (野々村委員代理) | 高知県危機管理部消防政策課長 |
| 二山 孝司 | 高知県医師会常任理事 |
| 山本 治 | 高知県健康政策部長 |

※ 敬称略、五十音順

救急医療体制検討専門委員会 出席者名簿

| 医療機関名 | 役職名 | 氏名 |
|-------------|----------------------|--------|
| 愛宕病院 | 病院長 | 内海 善夫 |
| 幡多けんみん病院 | 麻酔科部長 | 片岡 由紀子 |
| 高知医療センター | 救命救急センター長 | 喜多村 泰輔 |
| 田野病院 | 副院長 | 清藤 啓之 |
| 須崎くろしお病院 | 院長 | 田村 精平 |
| 高知赤十字病院 | 救命救急センター長兼 救急部長 | 西山 謹吾 |
| 近森病院 | 救命救急センター長 | 根岸 正敏 |
| くぼかわ病院 | 外科医長 | 浜田 伸一 |
| 国立病院機構高知病院 | 副救急部長 | 福山 充俊 |
| 高知県医師会 | 常任理事 | 二山 孝司 |
| あき総合病院 | 院長 | 前田 博教 |
| 高知大学医学部附属病院 | 麻酔科学・集中治療医学講座 准教授 | 山下 幸一 |

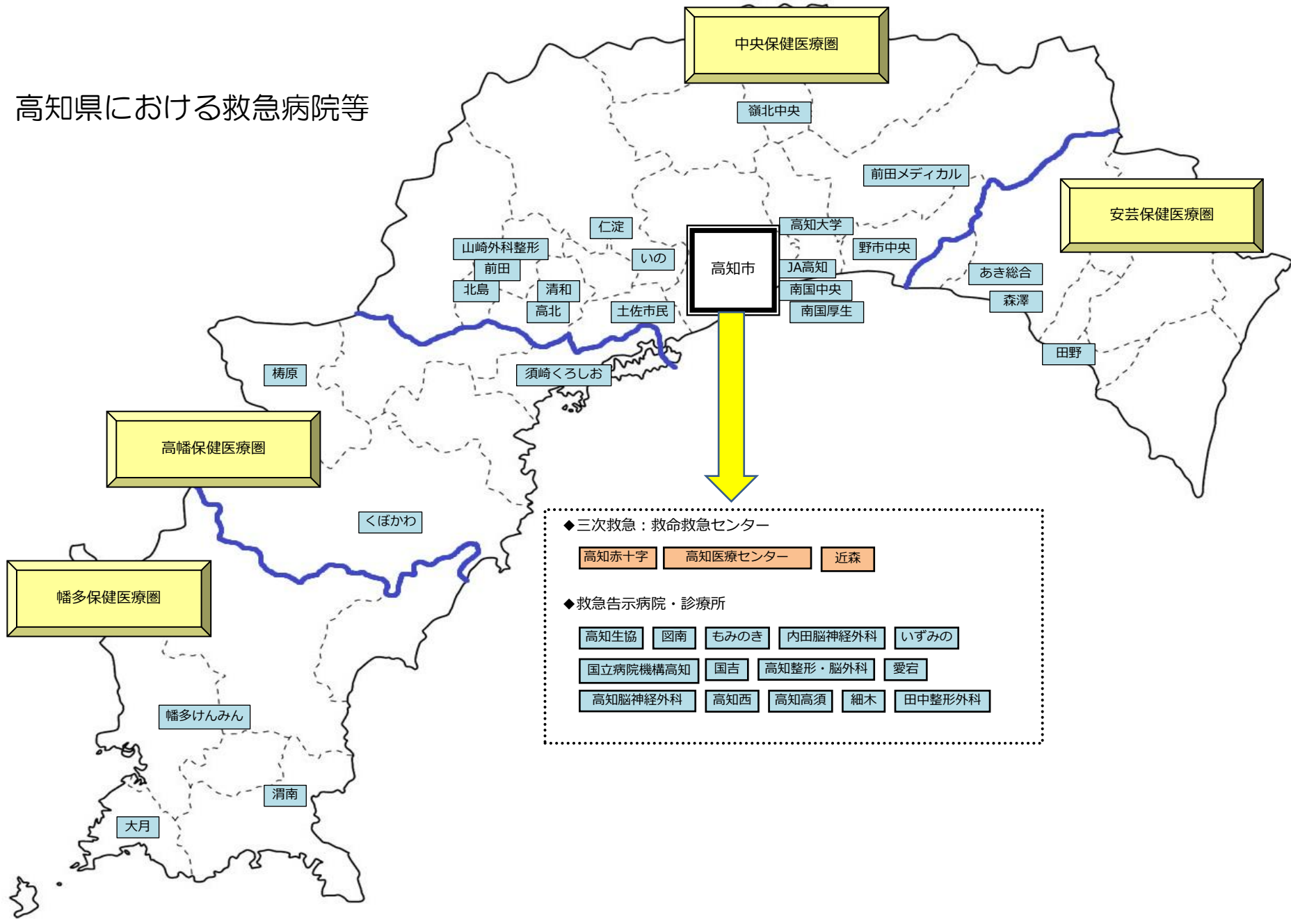
平成27年度二次救急医療機関及び三次救急医療機関意見交換会 出席者名簿

| (敬称略、保健医療圏ごとに50音順に記載) | | | |
|-----------------------|-----------------|----------------|------------------|
| 保健医療圏 | 医療機関名 | 役職名 | 氏名 |
| 1 | 安芸保健医療圏 | 高知県立あき総合病院 | 経営事業部長 福井 尚仁 |
| | | | 副院長 清藤 啓之 |
| 2 | 田野病院 | 脳神経外科部長 井川 直樹 | |
| 3 | 森澤病院 | 欠席 | |
| 4 | 中央保健医療圏 | 愛宕病院 | 事務長 黒田 康昭 |
| | | | 係長 時久 真一 |
| | | いずみの病院 | 院長 夕部 富三 |
| | | いの町立国民健康保険仁淀病院 | 院長 松浦 喜美夫 |
| | | 内田脳神経外科 | 理事長 内田 泰史 |
| | | | 副院長 坂本 宏 |
| | | 北島病院 | 事務長 本山 彰 |
| | | | 院長 国吉 宣俊 |
| | | 国吉病院 | 救命救急センター長 喜多村 泰輔 |
| | | 高知医療センター | 院長 小野川 高弘 |
| | | 高知生協病院 | 理事長 伊野部 卓志 |
| | | 高知整形・脳外科病院 | 救命救急センター長 西山 謙吾 |
| | | 高知赤十字病院 | 外科二 教授 渡橋 和政 |
| | | 高知大学医学部附属病院 | 麻酔科 准教授 山下 幸一 |
| | | 15 | 高知高須病院 |
| 16 | 高知脳神経外科病院 | 脳神経外科部長 有光 帥二 | |
| 17 | 国立病院機構高知病院 | 副救急部長 福山 充俊 | |
| 18 | 佐川町立高北国民健康保険病院 | 院長 和田 幸久 | |
| 19 | JA高知病院 | 院長 谷木 利勝 | |
| 20 | 清和病院 | 欠席 | |
| 21 | 関田病院 | 欠席 | |
| 22 | 田中整形外科病院 | 院長 田中 康 | |
| 23 | 地域医療機能推進機構高知西病院 | 副院長 梶谷 充 | |
| 24 | 近森病院 | 院長 近森 正幸 | |
| 25 | 土佐市立土佐市民病院 | 副院長 豊永 晋一 | |
| 26 | 因南病院 | 副院長 久 明史 | |
| 27 | 南国厚生病院 | 事務長 長尾 和紀 | |
| 28 | 南国中央病院 | 院長 久保 道生 | |
| | | 医師 生藤 博行 | |
| 29 | 野市中央病院 | 院長 公文 正光 | |
| 30 | 細木病院 | 副院長 上地 一平 | |
| 31 | 前田病院 | 副院長 宇賀 茂敏 | |
| 32 | 前田メディカルクリニック | 院長 前田 敬文 | |
| 33 | 本山町立国保嶺北中央病院 | 院長 佐野 正幸 | |
| 34 | もみのき病院 | 院長 森木 章人 | |
| 35 | 山崎外科整形外科病院 | 院長 山崎 奨 | |
| 36 | くはかわ病院 | 外科科長 浜田 伸一 | |
| 37 | 高幡保健医療圏 | 須崎くろしお病院 | 院長 田村 精平 |
| | | | 副院長 盛實 篤史 |
| 38 | 榑原町立国民健康保険榑原病院 | 医師 池田 幹彦 | |
| 39 | 漕南病院 | 診療部長 梶田 健 | |
| 40 | 幡多保健医療圏 | 大月町立国民健康保険大月病院 | 院長 橋元 球一 |
| | | 高知県立幡多けんみん病院 | 麻酔科部長 片岡 由紀子 |

平成27年度二次救急医療機関及び三次救急医療機関意見交換会 出席者名簿

| (敬称略) | | | |
|--------------|-------------------|---------------------|--|
| 消防本部名 | 役職名 | 氏名 | |
| 1 | 高知市消防局 | 警防主幹 江口 康隆 | |
| 2 | 室戸市消防本部 | 救急分隊長 松下 匡志 | |
| 3 | 安芸市消防本部 | 救急救助係長 平井 盛志 | |
| 4 | 香南市消防本部 | 消防1係長 福留 義則 | |
| 5 | 香美市消防本部 | 救急担当 千頭 誉佳 | |
| 6 | 南国市消防本部 | 救急係長 小松 貞雄 | |
| 7 | 土佐市消防本部 | 総務班係長 前田 武志 | |
| 8 | 土佐清水市消防本部 | 救急係長 井上 誠 | |
| 9 | 中芸広域連合消防本部 | 救急係長 公文 伸保 | |
| 10 | 嶺北広域行政事務組合消防本部 | 救急主任 坂本 和明 | |
| 11 | 仁淀消防組合消防本部 | 救急係長 伊藤 実 | |
| 12 | 高吾北広域町村事務組合消防本部 | 救急隊長 西森 輝拓 | |
| 13 | 高幡消防組合消防本部 | 副隊長 常石 昭裕 | |
| 14 | 幡多中央消防組合消防本部 | 救急主任 渡辺 公博 | |
| 15 | 幡多西部消防組合消防本部 | 主任 尾川 祥司 | |
| 高知県 | 健康政策部 | 部長 山本 治 | |
| | | 課長 川内 敦文 | |
| | 健康政策部医療政策課 | 企画監(災害医療対策担当) 豊永 大五 | |
| | | 課長補佐 川崎 敏久 | |
| | | 救急・災害医療担当チーフ 山本 博 | |
| | 危機管理部消防政策課 | 主事 鍋島 由子 | |
| | | 課長 土居 秀臣 | |
| | | 課長補佐 山崎 秀一 | |
| | | 消防担当チーフ 猪野 輝彦 | |
| | | 主事 佐竹 勇亮 | |
| 地域福祉部障害保健福祉課 | 精神保健福祉担当チーフ 濱田 文晴 | | |
| | 主事 島田 侑哉 | | |

高知県における救急病院等



中央保健医療圏

嶺北中央

前田メディカル

安芸保健医療圏

仁淀

高知市

高知大学

野市中央

山崎外科整形

前田

いの

JA高知

南国中央

南国厚生

あき総合

森澤

田野

北島

清和

高北

土佐市民

梶原

須崎くろしお

高幡保健医療圏

くほかわ

- ◆三次救急：救命救急センター
 - 高知赤十字
 - 高知医療センター
 - 近森
- ◆救急告示病院・診療所
 - 高知生協
 - 関南
 - もみのき
 - 内田脳神経外科
 - いずみの
 - 国立病院機構高知
 - 国吉
 - 高知整形・脳外科
 - 愛宕
 - 高知脳神経外科
 - 高知西
 - 高知高須
 - 細木
 - 田中整形外科

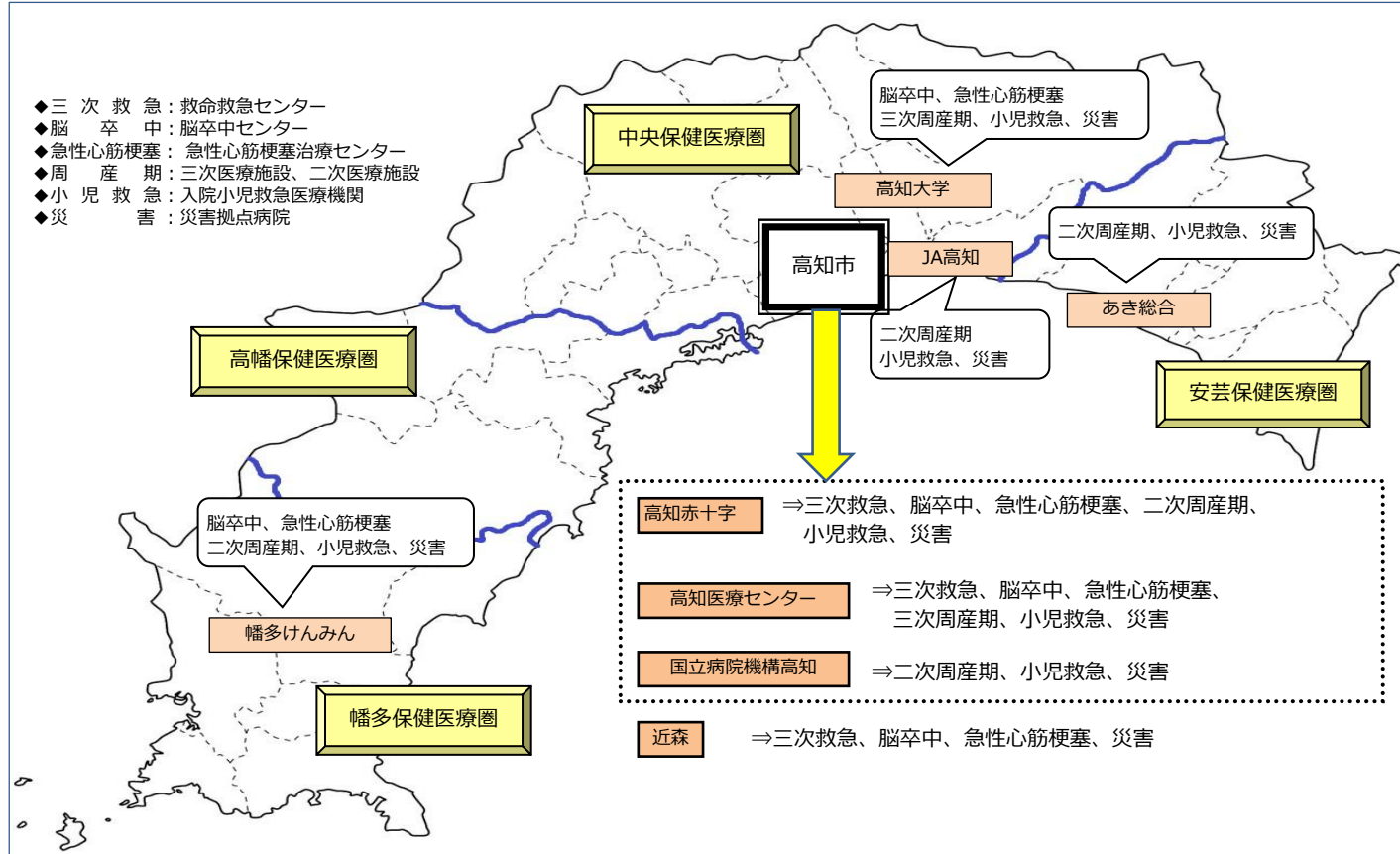
幡多保健医療圏

幡多けんみん

渭南

大月

保健医療計画に定める主な機能別の医療機関



高知県の救急医療体制

初期救急医療体制 ～外来で対応可能な救急医療～

- 休日夜間急患センター・平日夜間小児急患センター(1施設・高知市)
- 在宅当番医(休日・高知市を除く6郡医師会単位) ● 眼科在宅当番医(休日)
- 歯科保健センター(休日) ● 歯科在宅当番医(GW、年末年始)

二次救急医療体制 ～入院治療を要する傷病への対応～

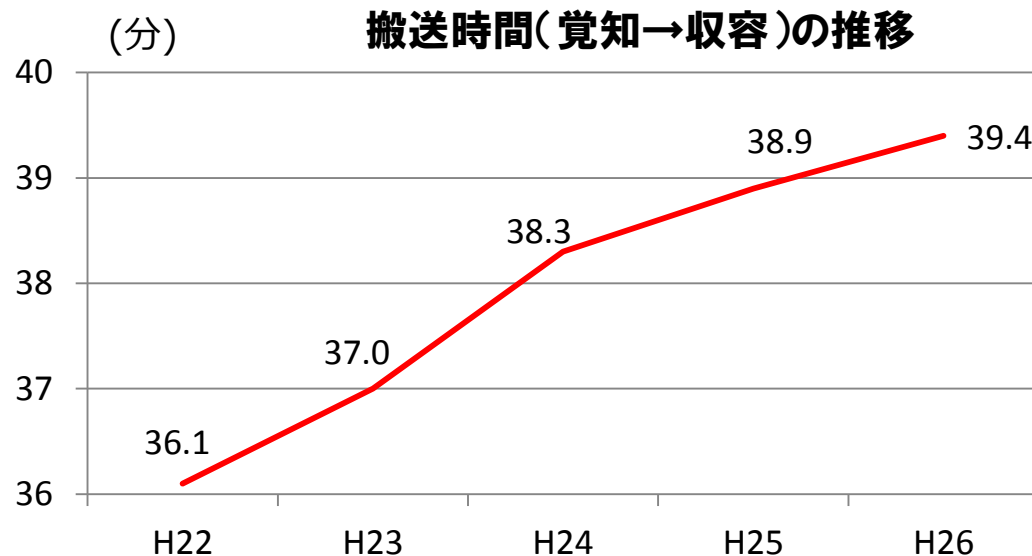
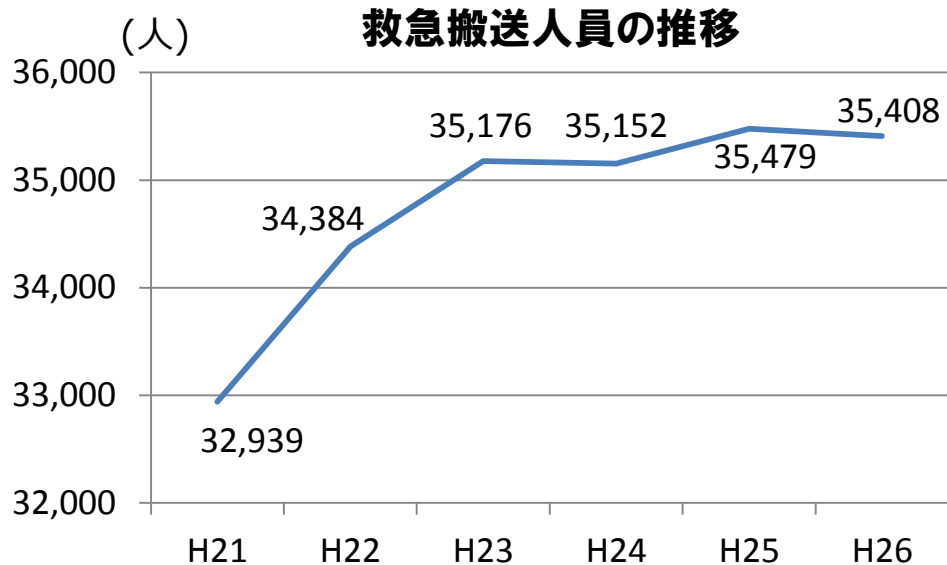
- 救急告示病院・診療所(41施設:三次救急と重複の3施設を除く)
- 病院群輪番制(3地域・11施設:救急告示と重複の9施設を除く)
- 小児科病院群輪番制(中央・高幡圏域:救急告示の5施設)

三次救急医療体制 ～重篤な救急患者への入院医療～

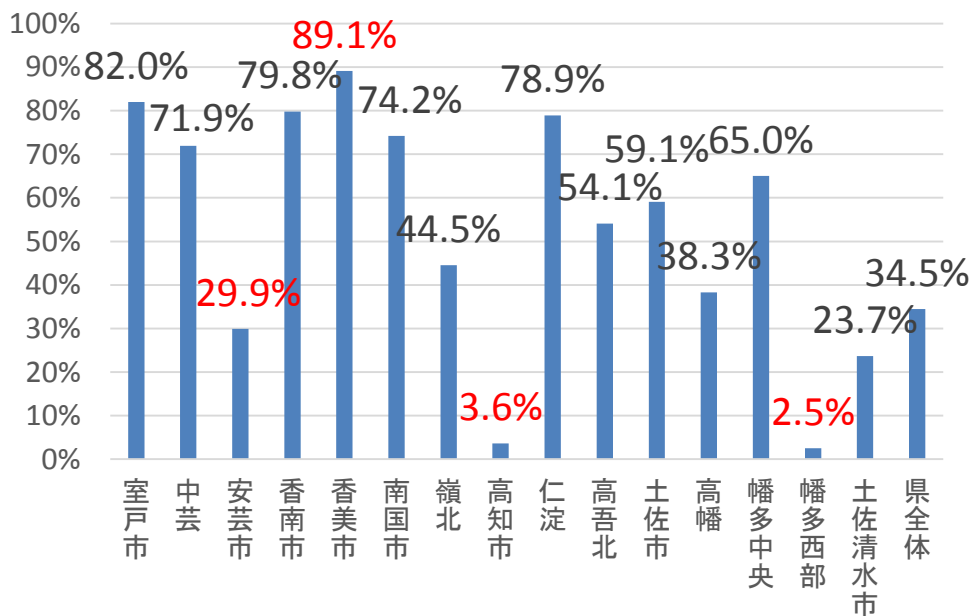
- 救命救急センター(3施設:高知赤十字病院、高知医療センター、近森病院)

高知県の救急医療の現状（1）

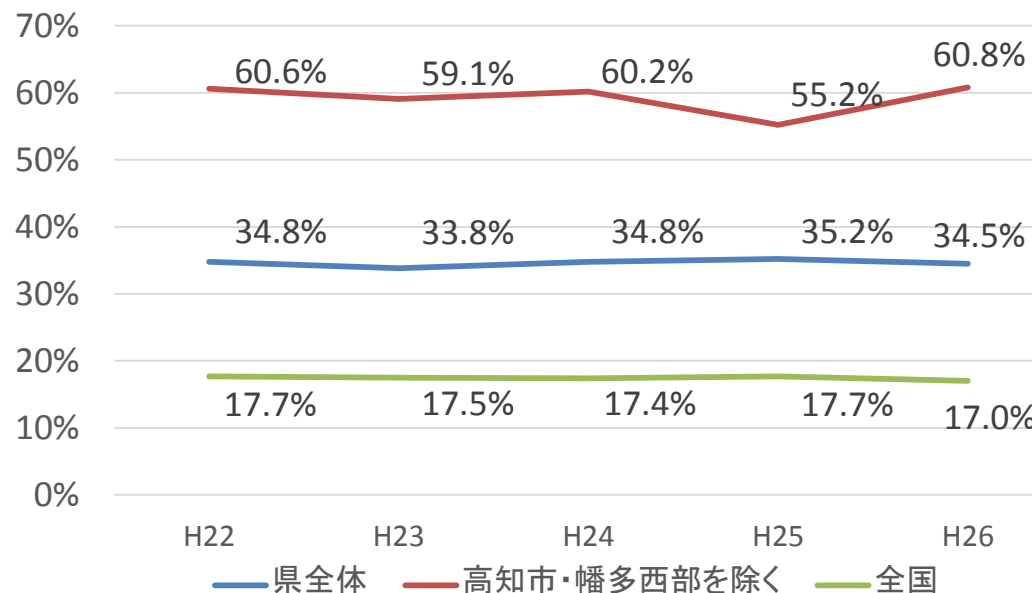
救急救助の現況(総務省消防庁)



管外搬送割合(消防本部別、平成26年)

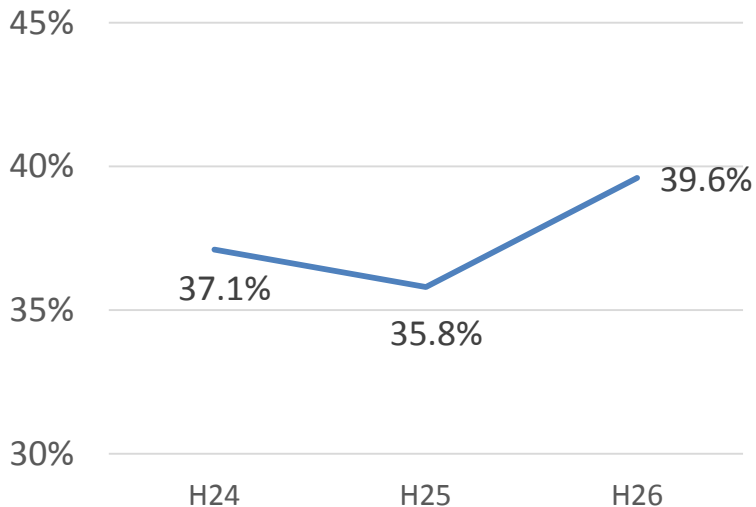


管外搬送割合の推移

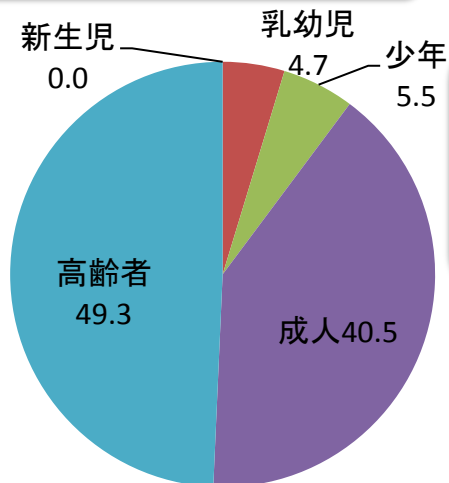


高知県の救急医療の現状（2）

救急搬送された患者のうち、救命救急センターに搬送された割合

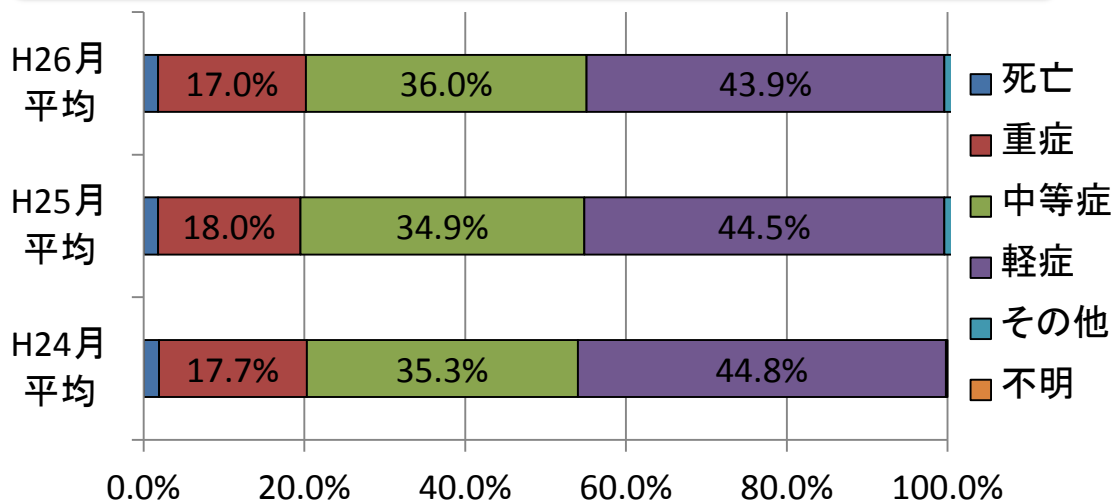


救急搬送された患者のうち、軽症者の年齢別割合（H25年）



（救急・救助の現況）

救急搬送された患者の傷病程度別割合（高知県）



（救急・救助の現況）



- ・年間約36,000人が救急搬送（人口当たりで全国トップレベル）
- ・3つの救命救急センターに県全体の救急搬送の約4割が集中



- ・救急搬送が中央圏域へ集中
- ・救急医療・小児救急医療を担う医師の不足による負担の増大
- ・医療従事者の疲弊



- ・救急搬送患者の約45%が軽症者

救急医療体制の課題と対策

課題

- ◇救急医療提供体制の維持と適切な活用
- ◇地域の二次救急医療機関による受け入れの増加
- ◇救急隊と医療機関の連携体制の充実
- ◇発症後の早期治療の開始

対策

- ◆救急医療機関の支援と適正受診の啓発強化
 - ・休日夜間の医療提供体制の維持
 - ・救急医療の適正受診に向けた効果的啓発
 - ・適正受診を促す電話相談の実施
 - ・救命救急センターの支援
- ◆地域の二次救急医療機関の強化
 - ・救急医療従事者研修の支援
 - ・救急告示病院の機能強化
- ◆ICTを活用した救急搬送体制の強化
 - ・こうち医療ネットの更なる改善
- ◆ドクターヘリ体制の強化
 - ・ドクターヘリの円滑な運航

平成 28 年度重点目標

- 県民が安心して暮らせる急性期医療体制の確立
 - ・三次救急医療機関から二次救急医療機関との間でスムーズな転院を行うための仕組みを構築